

今月のきもの遊び

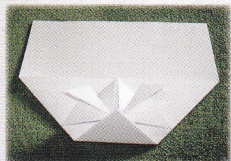


ポチ袋に香りを入れて

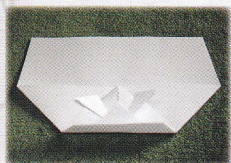
現金や物を贈る時、外部からの穢れの侵入を止める意味を含む清浄心から和紙で包み、包むことのできない物には付け鬘斗を用い、その他の儀式用に飾る紙を折っていく方式を「折形」と言うそうです。そこで、今月は、「兜のポチ袋」をご紹介します。私は本来の目的以外に、好みの香を入れ、袖の袂や帯に挟んだり、カバンに入れたり、ノートに挟んだり……。ほのかな和の香りを楽しんでいます。

兜のポチ袋の折り方

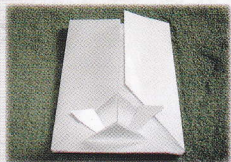
7 頂点が兜の角の下に1センチぐらい重なるぐらいに下から折ります。



8 兜の底辺でさらに折ります。



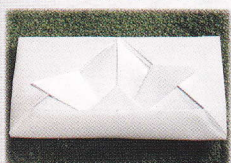
9 両端を写真のように折ります。この時にお金やお香を中に入れます。



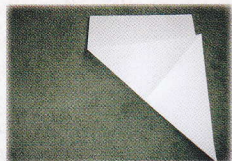
10 兜の一番上のラインで、後ろに折り、前に返して、余った部分を底辺に合わせて折り上げます。



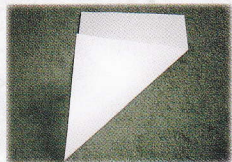
11 底辺に合わせて折り上げた部分の両端を写真のように挟んで出来上がりです。



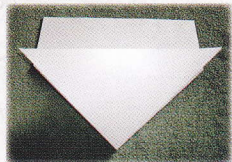
1 半紙(コピー用紙でも可)の左下を斜めに折ります。



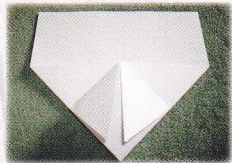
2 広げて、右下も同様に折ってスジを付けます。



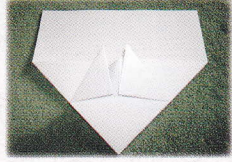
3 下辺をスジが付いている所まで折り上げながら、三角に折り込みます。



4 三角の両角を写真のように下に折ります。



5 今度は両角が少し上に出るように斜め上方向に折ります。



6 両角を写真のように折って兜の角を作ります。



私のきものアルバム5月

文・物撮/林良江 人物撮影/内田祐介



皐月。季節の節目となる五節句(五節供)の代表格「端午の節句」、お母様に感謝を捧げる「母の日」、さまざまな色が飛び交う花々が似合う爽やかな季節です。そして、結婚式のシーズンも始まります。今月のきものは、二十三歳のときに詠えた付下げです。幼稚園の時から幼馴染が五月に結婚式を挙げる際に、友人代表としてご挨拶をする時のために詠えました。藤の花の刺繍がアクセントになっていて、今でも五月になると着たくなるきものです。帯は、成人式の振袖に合わせた二十四金の袋帯で、成人式だけに限らず、長く身に着けられるようにと父母が選んだもので、結びやすく飽きのこない柄です。この付下げを初め、どんなきものにも合います。今もこうして身に着ける度に、良いきものと帯を選んでくれた父母に感謝の気持ちが沸いてきます。

きものでお出かけ情報

毎月、きものを着て集う楽しいイベントを用意しています。お気軽にご参加ください。

「日本美人・生活美人・対話美人 輝きスタイル講座」
とき:5月15日(日)12時~15時30分
ところ:隠れ家「真里ねえ〜」東京・JR品川駅南口より徒歩5分
¥:2,500円(昼食・3時のおやつ代込み)

「前進座創立80周年記念 ~観劇とお食事~」
とき:5月22日(日)11時開演
ところ:国立劇場ロビー・10時集合
¥:5,000円(観劇料金2等席4,000円、お弁当代1,000円)

問・予約:和創美・林良江 090-7010-4723
<http://www.wasoubi.jp/> (和創美 検索)

林良江 ● はやしよしえ
法人企業・外食産業系会社創業社長(17年間)を経て、
マダム路子会長の「国際魅力学会」魅力心理学士として活動。
着付&礼法&ビジネススクール講師、マナーアドバイザー、
経営コンサルタント、フードコーディネーター、占い師、
パーソナリティなどマルチに活躍。
また「輝く女性作りセミナー・シャイニング(女性講師軍団)」を主宰。
「和創美」代表。